

平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 株式会社エコノス 上場取引所 札  
 コード番号 3136 URL http://www.eco-nos.com/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 勝也  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長 (氏名)新行内 宏之 (TEL)011-875-1996  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	1,875	△0.7	22	-	△0	-	△23	-
30年3月期第2四半期	1,890	△3.3	△33	-	△60	-	△59	-

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 △23百万円 (-%) 30年3月期第2四半期 △63百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△27.70	-
30年3月期第2四半期	△69.42	-

(注) 平成30年3月期第2四半期及び平成31年3月期第2四半期においては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	2,449	261	10.7
30年3月期	2,530	281	11.1

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 261百万円 30年3月期 281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
31年3月期	-	0.00	-	-	-
31年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,708	△3.1	73	-	30	-	18	-	21.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	872,708株	30年3月期	859,398株
② 期末自己株式数	289株	30年3月期	139株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	865,555株	30年3月期2Q	859,259株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

この度の台風21号及び北海道胆振東部地震により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善により、個人消費に回復の兆しがみえるなど、緩やかな景気回復基調で推移している一方、台風や地震などの自然災害が発生し、経済活動に影響を及ぼしました。

また、米国に端を発した貿易摩擦問題や地政学的リスクなどにより、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、北海道胆振東部地震の影響による店舗の休業や什器の修繕等の損失が発生したものの、前連結会計年度に実施した経営資源の見直しや事業の選別・集中の効果により固定費が大きく削減され、営業利益が増加いたしました。リユース事業におきましては、前連結会計年度に行いました新品商材のインターネット販売事業の撤退と地震による店舗の休業により、売上高は前年同四半期に比べ減少しましたが、地震の影響を除いた既存店舗の売上高は概ね堅調に推移いたしました。また、低炭素事業におきましては、前連結会計年度に受注したコンサルティング案件の業務完了に伴い売上計上したことや、排出権取引による売上が好調に推移したことから売上高は前年同四半期を大きく上回りました。

なお、当第2四半期連結会計期間において、特別損失として災害による損失2,591千円を計上いたしました。その主な内訳は、パート・アルバイト従業員の休業補償、商品の廃棄損及び評価損、店舗什器の修繕費等であります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高1,875,927千円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益22,738千円（前年同四半期は営業損失33,089千円）、経常損失961千円（前年同四半期は経常損失60,960千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失23,974千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失59,652千円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

(リユース事業)

リユース事業におきましては、前連結会計年度に行いました新品商材のインターネット販売事業の撤退と地震による店舗の休業により、売上高は前年同四半期に比べ減少しましたが、地震の影響を除いた既存店舗の売上高は概ね堅調に推移いたしました。また、前連結会計年度に実施した経営資源の見直しや事業の選別・集中の効果により固定費が大きく削減され、利益額が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高1,771,366千円（前年同四半期比3.4%減）、セグメント利益は171,050千円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

当第2四半期連結会計期間末現在におけるリユース事業の各業態別の店舗数は以下のとおりであります。

(単位：店)

	ブックオフ 事業部	ハードオフ事業部				ハードオフ 事業部計	合計
		ハードオフ	オフハウス	ホビーオフ	ガレージ オフ		
店舗数	17	13	16	15	1	45	62

(注) ブックオフ事業部の店舗数にはインターネット販売の1店舗を含みます。

## (低炭素事業)

低炭素事業におきましては、前連結会計年度に受注したコンサルティング案件の業務完了に伴い売上計上したことや、排出権取引による売上が好調に推移したことから、売上高は前年同四半期を大きく上回りました。また、前連結会計年度に実施した経営資源の見直しや事業の選別・集中の効果により固定費が大きく削減されたことから、セグメント損失は改善いたしました。

P P S (特定規模電気事業者) 等を中心として、カーボン・オフセットの需要は引き続き旺盛であり、当社グループとしましては、カーボン・オフセットの仕入を円滑に行うことにより、業績を回復させ、利益の確保に努めてまいります。

なお、カーボン・オフセット・プロバイダー事業につきましては、年度上期に受注して年度末に業務が完了する契約が多いという特徴があります。そのため、売上計上までに経費が先行して計上され、第3四半期連結累計期間まではセグメント損失が続く傾向があります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高86,391千円(前年同四半期比102.2%増)、セグメント損失は26,919千円(前年同四半期はセグメント損失55,891千円)となりました。

## (その他)

本セグメントは報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業とiPhoneの修理等のサービスを行うリペア事業を含んでおります。

リペア事業に関しましては、平成30年3月に1店舗のiCracked Japan株式会社への移管及び1店舗の退店を行うことによって、札幌ロフト店の1店舗に事業を集約いたしました。それにより固定費の削減を行い、本セグメントは利益を確保いたしました。

以上の結果、本セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は売上高18,170千円(前年同四半期比30.9%増)、セグメント利益は512千円(前年同四半期はセグメント損失10,230千円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、1,221,735千円となり、前連結会計年度末と比べて70,589千円の減少となりました。これは、主に現金及び預金の減少20,459千円、売掛金の減少36,016千円、その他の流動資産の減少10,320千円によるものです。

また、当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,227,895千円となり、前連結会計年度末と比べて9,973千円の減少となりました。これは、主に建物及び構築物の増加48,359千円があった一方で、敷金の減少19,845千円、リース資産の減少15,232千円、繰延税金資産の減少15,306千円によるものです。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、913,291千円となり、前連結会計年度末と比べて5,597千円の増加となりました。これは、主に買掛金の増加15,307千円、賞与引当金の増加6,707千円、その他の流動負債の増加4,713千円があった一方で、未払金の減少21,300千円によるものです。

また、当第2四半期連結会計期間末における固定負債は1,275,184千円となり、前連結会計年度末と比べて66,074千円の減少となりました。これは、主に資産除去債務の増加23,381千円があった一方で、長期借入金の減少63,064千円、リース債務の減少13,009千円、社債の減少8,300千円によるものです。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、261,154千円となり、前連結会計年度末と比べて20,085千円の減少となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上23,974千円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は408,856千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は70,006千円(前年同四半期は27,962千円の収入)となりました。これは、主に減価償却費の計上38,055千円、売上債権の減少36,016千円、仕入債務の増加15,307千円による資金の増加があったことと、税金等調整前四半期純損失の計上3,553千円、未払金の減少23,886千円による資金の減少があったためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は3,536千円(前年同四半期は14,494千円の支出)となりました。これは、主に敷金の回収による収入35,197千円の資金の増加があったことと、有形固定資産の取得による支出28,189千円、敷金の差入による支出10,155千円による資金の減少があったためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は86,880千円(前年同四半期は46,411千円の支出)となりました。これは、主に長期借入金の増加による収入50,000千円の資金の増加があったことと、長期借入金の返済による支出114,042千円、リース債務の返済による支出17,106千円による資金の減少があったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月15日付の「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	429,316	408,856
売掛金	98,337	62,320
たな卸資産	692,705	692,966
前払費用	53,614	49,560
その他	18,350	8,030
流動資産合計	1,292,324	1,221,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	95,453	143,813
工具、器具及び備品(純額)	104,020	95,476
土地	115,483	115,483
リース資産(純額)	507,617	492,385
その他(純額)	2,683	2,792
有形固定資産合計	825,258	849,950
無形固定資産		
その他	2,549	1,907
無形固定資産合計	2,549	1,907
投資その他の資産		
投資有価証券	30,743	30,547
敷金	305,447	285,602
繰延税金資産	15,691	385
その他	58,177	59,502
投資その他の資産合計	410,059	376,037
固定資産合計	1,237,868	1,227,895
資産合計	2,530,192	2,449,630

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,349	21,657
短期借入金	450,000	450,000
1年内償還予定の社債	16,600	16,600
1年内返済予定の長期借入金	208,606	207,628
リース債務	33,830	35,683
未払金	83,727	62,426
未払費用	62,679	62,723
未払法人税等	13,126	14,038
未払消費税等	19,382	19,655
賞与引当金	-	6,707
ポイント引当金	5,354	3,420
その他	8,036	12,750
流動負債合計	907,693	913,291
固定負債		
社債	75,300	67,000
長期借入金	477,972	414,908
リース債務	617,670	604,660
長期末払金	57,001	53,524
長期前受収益	1,896	956
退職給付に係る負債	43,835	43,797
資産除去債務	65,981	89,362
繰延税金負債	701	674
その他	900	300
固定負債合計	1,341,259	1,275,184
負債合計	2,248,953	2,188,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	210,813	212,786
資本剰余金	159,140	161,113
利益剰余金	△91,783	△115,758
自己株式	△69	△164
株主資本合計	278,100	257,977
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,794	3,727
為替換算調整勘定	△655	△550
その他の包括利益累計額合計	3,139	3,176
非支配株主持分	-	-
純資産合計	281,239	261,154
負債純資産合計	2,530,192	2,449,630

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	1,890,044	1,875,927
売上原価	627,758	620,116
売上総利益	1,262,286	1,255,811
販売費及び一般管理費	1,295,375	1,233,072
営業利益又は営業損失(△)	△33,089	22,738
営業外収益		
受取配当金	870	803
受取手数料	4,783	4,552
協賛金収入	870	870
その他	5,210	5,326
営業外収益合計	11,734	11,552
営業外費用		
支払利息	36,193	33,928
その他	3,411	1,324
営業外費用合計	39,605	35,253
経常損失(△)	△60,960	△961
特別損失		
災害による損失	-	2,591
特別損失合計	-	2,591
税金等調整前四半期純損失(△)	△60,960	△3,553
法人税、住民税及び事業税	1,996	4,893
法人税等調整額	915	15,527
法人税等合計	2,911	20,421
四半期純損失(△)	△63,871	△23,974
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,219	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△59,652	△23,974

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純損失(△)	△63,871	△23,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	526	△67
為替換算調整勘定	33	104
その他の包括利益合計	559	37
四半期包括利益	△63,312	△23,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△59,093	△23,937
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,219	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△60,960	△3,553
減価償却費	45,480	38,055
長期前払費用償却額	2,244	1,272
のれん償却額	231	-
災害損失	-	2,591
受取利息及び受取配当金	△877	△817
支払利息	36,193	33,928
売上債権の増減額(△は増加)	55,650	36,016
たな卸資産の増減額(△は増加)	△24,682	△682
仕入債務の増減額(△は減少)	△27,733	15,307
未払消費税等の増減額(△は減少)	9,191	△4,979
未払金の増減額(△は減少)	5,325	△23,886
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,955	6,707
ポイント引当金の増減額(△は減少)	131	△1,934
前受金の増減額(△は減少)	1,116	△1,145
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△17,502	△38
その他の資産の増減額(△は増加)	7,358	11,805
その他の負債の増減額(△は減少)	13,378	△641
小計	47,502	108,006
利息及び配当金の受取額	647	1,096
利息の支払額	△34,083	△32,992
法人税等の支払額	△2,009	△4,137
法人税等の還付額	15,906	-
災害損失の支払額	-	△1,966
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,962	70,006
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,034	△28,189
敷金の差入による支出	△20,128	△10,155
敷金の回収による収入	19,500	35,197
差入保証金の差入による支出	△1,500	△130
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△332	△259
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,494	△3,536
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	100,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△120,022	△114,042
社債の償還による支出	△8,300	△8,300
リース債務の返済による支出	△16,306	△17,106
長期未払金の返済による支出	△1,782	△1,283
ストックオプションの行使による収入	-	3,947
自己株式の取得による支出	-	△95
財務活動によるキャッシュ・フロー	△46,411	△86,880
現金及び現金同等物に係る換算差額	△68	△50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△33,011	△20,459
現金及び現金同等物の期首残高	506,436	429,316
現金及び現金同等物の四半期末残高	473,425	408,856

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	リユース 事業	低炭素 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,833,424	42,735	1,876,160	13,884	1,890,044	-	1,890,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,833,424	42,735	1,876,160	13,884	1,890,044	-	1,890,044
セグメント利益又は 損失(△)	161,644	△55,891	105,753	△10,230	95,523	△128,612	△33,089

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及びリペア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△128,612千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	リユース 事業	低炭素 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,771,366	86,391	1,857,757	18,170	1,875,927	-	1,875,927
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,771,366	86,391	1,857,757	18,170	1,875,927	-	1,875,927
セグメント利益又は 損失(△)	171,050	△26,919	144,130	512	144,643	△121,904	22,738

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及びリペア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△121,904千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。